

1. 1月すこやか倶楽部・転倒予防教室の報告

すこやか倶楽部・転倒予防教室はお休みです

2. 2月すこやか倶楽部・転倒予防教室のご案内

すこやか倶楽部は「お雛さま作りと簡単おやつ」を行います



地域の方が発案、講師を依頼しました。
ボランティア参加していただいている
民生委員さんと一緒に、高齢者向けマツヨリ
にて、入居者の方々との交流も兼ねて
「ミニすこやか倶楽部」として事前講習
を実施予定です。

日/場所 2月12日(火) 元町北27条会館

2月13日(水) 元町北東会館

2月14日(木) 元町中央会館

時間 10:00~12:00

材料費 150円予定

転倒予防教室は「体力測定(再評価)~1年間の振り返り」を行います

日/場所 2月9日(土) 慈徳ハイツ1階

時間 10:00~12:00

3. 報告

12月19日 「平成19年度高齢者虐待に関する関係職員研修会」 参加
札幌こぶしクリニック 藤田医師(精神科医)の講演から

●見えない虐待

どうやって自覚させるか

虐待者54.1%に自覚がない

自覚があっても止められない人にパーソナリティ障害が多い

●ストレスが多くなると処理能力低下、身体の変化(倦怠感)、精神的变化が生じ、苛立ちが生まれ、その矛先は反抗しない方へ向いていく

●虐待する者の特徴のひとつに、介護者に性格的・精神的障害が認められる ~アスペルガー症候群、ADHC(注意欠陥・多動性障害)、自閉症の 人が介護者になった場合、情緒的理解が困難

◎パーソナリティ障害者の特徴

不安が強い 情緒不安定(怒りが題材) 特殊な考え(認知の歪み)

高齢者虐待は、介護負担蓄積型が主因と考えがちだったが、介護者の
パーソナリティ障害も原因していることが認識できました。

予防には、介護負担を減らすことは勿論、認知症の理解も必要で、
かつ、パーソナリティ障害者には虐待の自覚認識や行動変容を求めるの
は難しく、精神科医などの専門職種との連携も必要であることが理解でき
ました。